



# 下関市環境基本計画の年次報告

望ましい環境像

地域で育み 未来へとつなぐ 自然と歴史が共生する海峡都市 しものせき

豊かな自然環境の保全とふれあいの推進

成果指標

環境負荷の少ない循環型社会の構築

成果指標

快適な生活空間の確保

成果指標

未来につなぐ低炭素の社会づくり

成果指標

環境保全の仕組みづくり

成果指標

基本目標

## 成果指標

基本目標	成果指標	現状(把握年度)	令和元年度実績	目標(目標年度)
豊かな自然環境の保全とふれあいの推進	「水辺とのふれあい」に関する満足度	27.7% (平成27年度)	-	36.7% (平成38年度)
	「里地、里山、里海とのふれあい」に関する満足度	36.7% (平成27年度)	-	41.4% (平成38年度)
	「自然の生き物とのふれあい」に関する満足度	26.7% (平成27年度)	-	33.6% (平成38年度)
環境負荷の少ない循環型社会の構築	「PM2.5など健康を損なう恐れのある大気汚染物質の状況」に関する満足度	29.8% (平成27年度)	-	43.4% (平成38年度)
	環境基準(大気質)の達成率	67% (平成26年度)	86%	100% (平成38年度)
	環境基準(河川)の達成率	100% (平成26年度)	100%	100% (平成38年度)
	環境基準(海域)の達成率	95% (平成26年度)	85%	100% (平成38年度)
環境負荷の少ない循環型社会の構築	ごみ排出量	1,074g/人・日 (平成26年度)	1,039g/人・日	980g/人・日 (平成29年度)
	ごみの再生利用率	21.8% (平成26年度)	22.8%	29% (平成29年度)
快適な生活空間の確保	「まちの美しさと親しみ」に関する満足度	27.0% (平成27年度)	-	37.7% (平成38年度)
未来につなぐ低炭素の社会づくり	下関市域からの温室効果ガス総排出量 <small>※第二次計画策定により再計算</small>	3,576千t-CO2 (平成25年度)	3,361千t-CO2 (平成29年度)	2,467千t-CO2 (令和12年度)
	家庭部門:世帯あたりの温室効果ガス排出量	-	-	基準年(1990年)比25%削減(平成32年度)
	業務部門:延床面積あたりの温室効果ガス排出量	-	-	基準年(1990年)比18%削減(平成32年度)
環境保全の仕組みづくり	環境分野に取り組んでいる市民活動団体の数	563団体 (平成28年度)	-	563団体 (平成38年度)

「環境基準(海域)の達成率」以外は把握年度より数値が好転している一方、「ごみの排出量」「ごみの再生利用率」については、平成29年度の目標値に到達していません。社会情勢としても、プラスチックごみを資源としての再利用を拡大する検討が現在進められており、市域全体で廃棄物及びプラスチックごみを削減するシステムを構築する必要があります。

「基本目標」にはそれぞれ「施策の方向性」を設定しており、「施策の方向性」ごとに「進捗指標」と「主要な施策」を設けています。また、「主要な施策」ごとに様々な事業があり、各事業ごとに進捗管理を行っております。



### 進捗指標

進捗状況	指標数	
	H30年度	R元年度
順調	13指標	15指標
ほぼ順調	12指標	9指標
やや遅延	8指標	10指標
遅延	10指標	9指標
見直し、その他	0指標	0指標

「順調」が2指標増加したものの、「順調」「ほぼ順調」の合計は24指標となり、前年度に比べて1指標減少しています。

### 事業

※140事業に対し、指標は142

進捗状況	指標数	
	H30年度	R元年度
ほぼ順調	88指標	90指標
半分程度は達成した	26指標	24指標
着手したが進んでいない	14指標	14指標
未着手	11指標	11指標
施策終了	3指標	3指標

「ほぼ順調」「半分程度は達成した」指標の合計は114指標で、前年度と同様の結果となっており、全体の80%を占めています。

# 環境部関連 10施策

## ① 海岸漂着ごみ発生抑制のための環境啓発及び環境教育

小学生の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むもので下関市誠意小学校と協力し、海岸漂着物を回収・分別し、種類別に個数及び重量を調査することにより、プラスチック等の人工物による海辺の汚染実態を把握した。



海岸漂着物調査

## ② ホタル保護及び啓発

小学生に自然環境を体験学習してもらうことを目的とし、豊田町のホタル祭りにおいてホタルクイズを行った。

市内外の小学生約220名が参加した。



ホタルクイズの様子

## ③ 啓発用看板の作成・配付

環境美化条例に基づく、ポイ捨て禁止看板を作成し市民等に配付し、環境美化を啓発した。

### ポイ捨て・飼い犬のふんの放置禁止！！



ポイ捨て禁止看板

## ④ 下関市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進

空調利用の減少など食事による省エネ効果を狙うとともに、クールビズやウォームビズのPRを目的としたランチを市役所本庁舎新館4階食堂において販売した。



# 環境部関連 10施策

## ⑤ 次世代自動車の普及促進

電気自動車の普及を促進することで、自動車から排出される二酸化炭素を大幅に削減し、本市の低炭素化社会実現を図るため、電気自動車充電ネットワークの整備に取り組んだ。



環境部 電気自動車



電気自動車用急速充電器（豊浦）

## ⑥ COOL CHOICE普及啓発イベント

地球環境に優しい「賢い選択」をしていこうという国民運動「COOL CHOICE」の取組を推進しており、その普及啓発活動の一環として、「COOL CHOICE 普及啓発フォーラム」を開催した。また、ご当地アイドル「ヤマカツ」をPRのメインキャラクターとして起用したとともに、レノファ山口やバレイン下関の試合会場で啓発活動を行った。



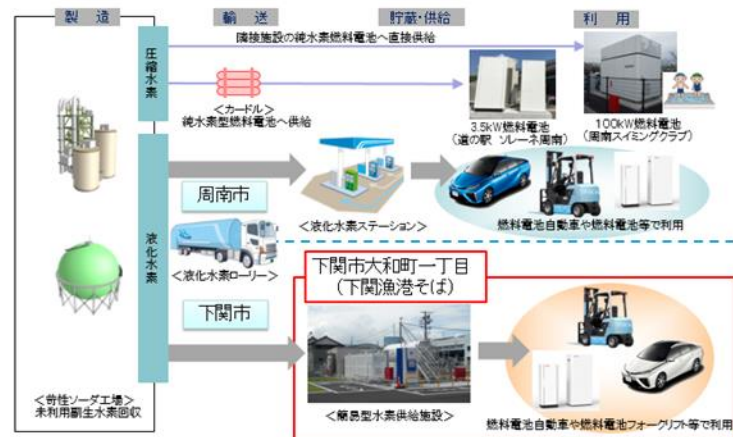
サッカー会場での啓発活動



COOL CHOICE 普及啓発フォーラム

## ⑦ 水素エネルギーの利用促進

山口県の周南コンビナートに立地する苛性ソーダ工場で発生する未利用で高純度の副生水素を回収し、周南地域で燃料電池自動車や燃料電池フォークリフト、純水素型燃料電池等で利用する実証を行い、下関市域においても、当該水素を液化、輸送して同様の利用を行う地域間連携モデル実証を行った。



## ⑧ 地球温暖化対策の促進

6月の環境月間に市役所新館1階に環境関連の看板を設置し市民に環境に配慮した活動を啓発した。



パネル展示

# 環境部関連 10施策

## ⑨ リサイクルプラザにおける各種催しの開催

子どもたちが楽しく遊びながら環境問題に取り組むことの大切さを学ぶ場としての市民啓発イベント「サマー・キッズエコフェスタ」を開催した。



紙すき体験

## ⑩ ごみの減量、再資源化に関する普及啓発

市内在住の小学1年生から小学6年生とその保護者を対象に親子リサイクル教室を通じて、ごみ減量等の重要性について理解を深めた。



親子リサイクル教室

